

## 2018年度(平成30年度)下水道事業の決算見込みの概要

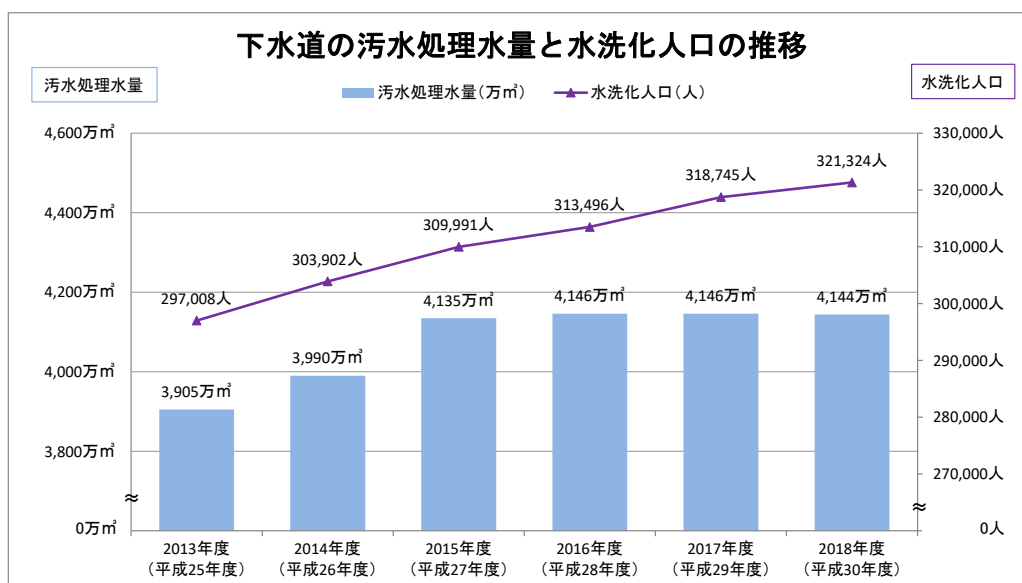
2018年度(平成30年度)下水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

### 下水道事業

#### 1 業務状況

下水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
処 理 区 域 内 人 口	342,152 人	340,672 人	1,480 人
普 及 率	73.1 %	72.6 %	0.5 點
水 洗 化 人 口	321,324 人	318,745 人	2,579 戸
水 洗 化 世 帯 数	143,513 世帯	140,618 世帯	2,895 世帯
総 汚 水 処 理 水 量	41,439,136 m <sup>3</sup> /年	41,461,084 m <sup>3</sup> /年	△ 21,948 m <sup>3</sup> /年
一 日 平 均 汚 水 処 理 水 量	113,532 m <sup>3</sup> /日	113,592 m <sup>3</sup> /日	△ 60 m <sup>3</sup> /日



## 2 建設改良事業の概況

2018年度(平成30年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

### ○公共施設整備事業【17億5,928万円】

新涯ポンプ場ポンプ設備工事

下水道管渠耐震化工事(30-1)

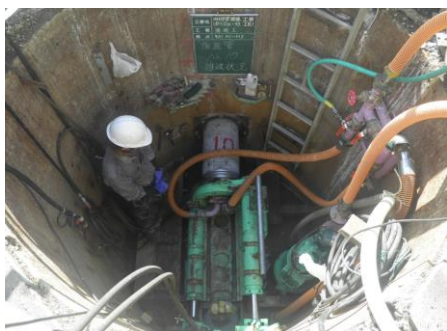
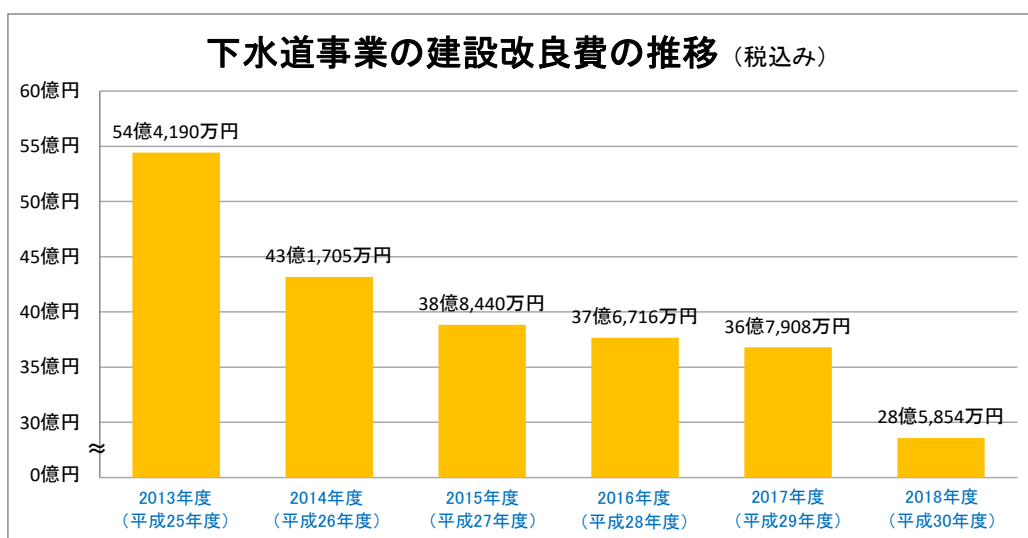
小口径管推進工事(都市第30-10工区) 外

### ○単独施設整備事業【9億7,671万円】

小口径管推進工事(流私第30-14工区) 外

### ○流域下水道整備事業【1億317万円】

芦田川流域下水道建設負担金



小口径管推進工事



下水道施設の耐震化  
※既設管の中に、地震に強い管を新しく造る

### 3 財政状況等

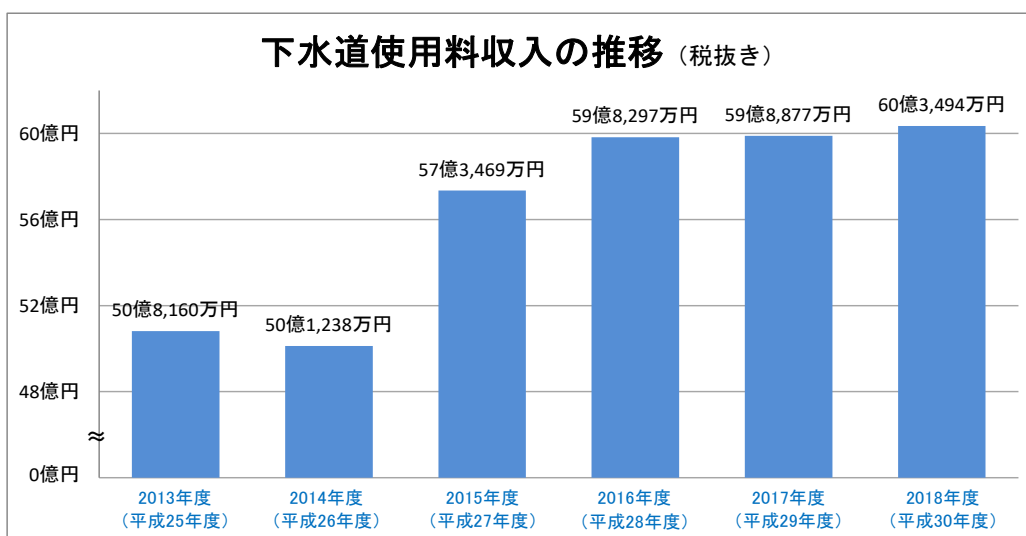
#### (1) 収益的収支(下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、他会計負担金などが減少したものの、下水道使用料や産業廃棄物の処理に係る損害賠償請求による特別利益が増加したことなどにより、前年度と比較して、32万円(0.0%)増加し、118億8,555万円となりました。

一方、事業費用は、産業廃棄物の処理費用などが減少したものの、松永浄化センター西系用地の譲渡による特別損失が増加したことなどにより、前年度と比較して、2億329万円(2.0%)増加し、104億1,987万円となり、差引14億6,568万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、下水道料金収入)	118億8,555万円 (60億3,494万円)	118億8,523万円 (59億8,877万円)	32万円 (4,617万円)
(うち、繰入金)	(35億252万円)	(35億7,174万円)	(△6,922万円)
収 益 的 支 出	104億1,987万円	102億1,658万円	2億329万円
差 引	14億6,568万円	16億6,865万円	△2億297万円

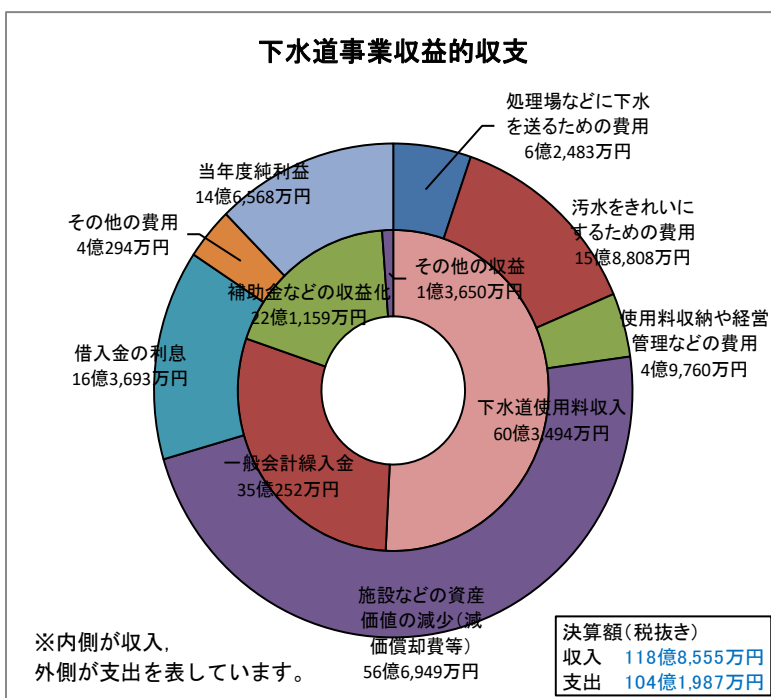


下水道事業損益計算書

【2018年(平成30年)4月1日から2019年(平成31年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	下水道使用料	60億3,494万円	下水道使用料収入
	他会計負担金	14億4,072万円	一般会計繰入金
	その他営業収益	164万円	その他の収益
営業費用	管渠費	2億2,044万円	処理場などに下水を送るための費用
	ポンプ場費	3億4,976万円	
	処理場費	2億3,456万円	汚水をきれいにするための費用
	排水設備費	5,463万円	処理場などに下水を送るための費用
	流域下水道費	13億5,352万円	汚水をきれいにするための費用
	業務費	1億9,811万円	使用料収納や経営管理などの費用
	総係費	2億9,949万円	
	減価償却費	56億1,334万円	施設などの資産価値の減少
資産減耗費	5,615万円		
営業利益		△9億270万円	
営業外収益	受取利息	20万円	その他の収益
	国庫負担金	85万円	
	他会計負担金	20億6,180万円	一般会計繰入金
	長期前受金戻入	22億1,159万円	補助金などの収益化
	雑収益	4,161万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	16億3,693万円	借入金の利息
	雑支出	3,724万円	その他の費用
経常利益		17億3,918万円	
特別利益	その他特別利益	9,220万円	その他の収益
特別損失	資産減耗費	3億6,120万円	その他の費用
	過年度損益修正損	264万円	
	その他特別損失	186万円	
当年度純利益		14億6,568万円	



(2) 資本的収支(下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)などにより、43億2,195万円となりました。

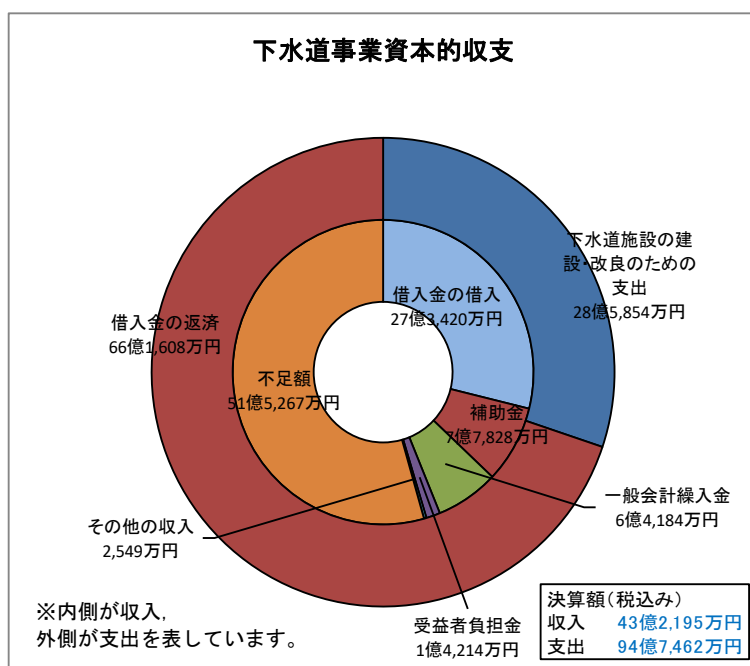
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、94億7,462万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、51億5,267万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、2億4,857万円増加し、14億7,385万円となりました。

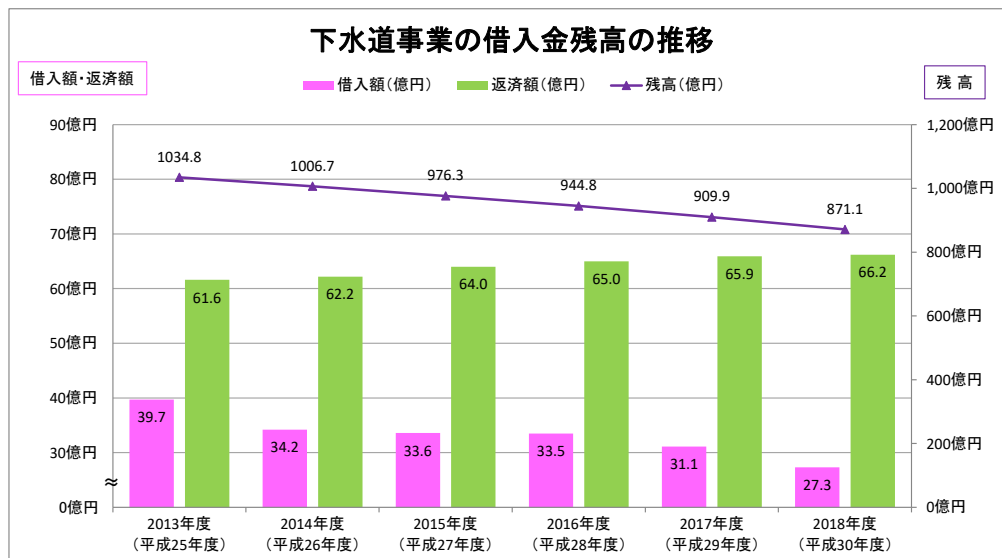
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	43億2,195万円	
企業債	27億3,420万円	借入金の借入
国庫補助金	7億7,828万円	補助金
出資金	6億4,184万円	一般会計繰入金
工事負担金	1,649万円	その他の収入
受益者負担金	1億4,214万円	受益者負担金
受益者分担金	900万円	その他の収入
資本的支出	94億7,462万円	
建設改良費	28億5,854万円	下水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	66億1,608万円	借入金の返済
差 引	51億5,267万円	不足額



### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて38億8,188万円(4.5%)減少し、871億1,206万円となりました。



## (4) 貸借対照表

下水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

## 下水道事業貸借対照表

【2019年(平成31年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	1,695億2,957万円	固定負債	806億8,458万円
有形固定資産	1,620億7,478万円	企業債	805億1,708万円
無形固定資産	74億4,215万円	引当金	1億6,750万円
投資その他の資産	1,264万円	流動負債	80億6,898万円
流動資産	29億4,785万円	企業債	65億9,498万円
現金及び預金	25億1,810万円	未払金	14億3,289万円
未収金	4億2,967万円	引当金	3,345万円
その他流動資産	8万円	その他流動負債	766万円
		繰延収益	658億5,599万円
		長期前受金	658億5,599万円
		資 本 の 部	
		資本金	137億1,114万円
		資本金	137億1,114万円
		剰余金	41億5,673万円
		資本剰余金	10億2,240万円
		利益剰余金	31億3,433万円
		(うち当年度純利益)	(14億6,568万円)
合 計	1,724億7,742万円	合 計	1,724億7,742万円

## (5) キャッシュ・フロー計算書

下水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	23億9,285万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴う現金・預金の収支)	51億2,688万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (下水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△17億7,152万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△32億3,011万円
当年度末の現金・預金の残高	25億1,810万円